

①デジタル技術を活用した学習スタイルの充実について

②不登校への重層的な支援体制の強化について



↑ 1人1台タブレット端末を活用した学習〈高等学校〉



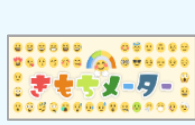
↑ 心の教育センター

デジタルツール

県作成



キャリアパスポート



きもちメーター



学習支援動画

外部ツール



GoogleWorkspace
高知県アカウント発行

外部ツール

デジタル教科書

デジタルドリル

県作成



単元テスト
これ単etc

外部ツール



学びの保障
オンライン学習
システム
(文科省提供)



デジタルドリル
(業者作成)

校務系データ



校務支援システム

ダッシュボードによる可視化

児童生徒用
個人ダッシュボード
イメージ



学級・学年・学校用
ダッシュボード
イメージ

標準仕様による
データ連携

データ
収集・蓄積

標準仕様による
データ連携

高知県学習支援プラットフォーム「高知家まなびばこ」



学習eポータル機能
ユーザー認証 (SSO)
各種デジタルツールとの標準
仕様による連携
学習者情報管理

オープンソース
を利用した
ダッシュボード

データ
可視化

データ
連携

フェーズ

1人1台端末環境の日常化

学習支援プラットフォーム「高知家まなびばこ」の構築
高知県Googleアカウントを発行・管理
デジタルツールの開発・更新

フェーズ

各種ログのビッグデータ化

各種デジタル教材から得られる児童生徒の様々なデータを学習支援プラットフォームに収集・蓄積し、ダッシュボードで視覚化

フェーズ

学習各種データの分析・活用

学習履歴 (スタディ・ログ)、生活履歴 (ライフ・ログ) 指導履歴 (アシスト・ログ) 等の経年・相関分析から指導の個別化・学習の個性化につながる活用を提案

自治体・学校のニーズに応じたデータベースの運用

授業改善に取り組む先生を応援しています

高知家まなびばこ 教職員ポータルサイトの小中学校課のサイトにて、各教科等の授業づくり役に役立つ情報を掲載しています。

【URL】 <https://sites.google.com/g.kochinet.ed.jp/310301>

県教委から発行された google フォカレント (@g.kochinet.ed.jp) が必要です。

「令和の高知型学校教育」の構築に向けて

(研究プロセス動画・ガイドラインに基づく授業動画の視聴はこちら)

ここを
クリック

小学校 3年 国語 書くこと

「調べて書こう、わたしのレポート」

小学校 4年 国語 読むこと

「広告を読みくらべよう」

小学校 4年 社会

「先人の働き 昔のくらしと開発」

小学校 5年 算数 C 変化と関係

「二つの数量の関係について考えよう」

収量量 (kg)	面積 (㎡)
A 36	8
B 27	5

小学校 6年 社会 (2) 我が国の歴史上の主な事象 「平和で豊かな暮らしを目指して」

小学校 6年 算数 C 変化と関係 (1) 「比例」

中学校 1年 社会 地理的分野 B (2)
世界の諸地域 フラリカ州

中学校 1年 数学 A 数と式 (2)
文字と式

【課題把握】
動機付け / 方向付け
予習・見直し

【課題追究】
情報収集 / 考察・構想
発表・共有

【課題解決】
まとめ / 振り返り
できること
取り組みがよいこと

～個別最適な学びと協働的な学び～

中学校 1年 技術・家庭科 (技術分野)
A 材料と加工の技術

中学校第1学年
数学科

立方体をx個つくるとき
棒の本数の求め方を
説明しよう

中学校 2年 社会 歴史的分野 C
(1) 近代の日本と世界

C34

② 扱われる課題
ちがっていているルールを整理するルーブル
を制作しよう

③ 製作用品
ルーブルボックス
安全性・耐久性・(通信性)

④ 学習目標
電子機器を充電できるスウェーチを取り除く

ルーブルを果敢に整理する

ルーブルを充電する際の落下を防ぐ工夫が必要！
側面にルーブルを通すようにしては？
<全ての本数や位置はどうか？>

⑥ 自己評価
安全性
耐久性

中学校 2年 数学 C 関数 (1)
一次関数

第1次
イギリスが世界で植民地を増やしているのはなぜだろう。

<本時の展開>
・16世紀と19世紀の世界地図を比較
・イギリスの植民地拡大⇔江戸幕府の改革
・ペンオーワンズ課題の提示
・ペンオーワンズ課題の提示

【主な問い】
イギリスが世界で植民地を増やしているのはなぜだろう。

ペンオーワンズ課題
ときは文久3年(1863年)、アメリカ合衆国ではリンカーンが奴隷解放宣言を宣言した頃、日本では開国して5年が経っていた。時代が次々くねりを見せる中、洋学者として私塾を開くあなたは、日本の進むべき道について、門下生にどのように説きますか？

中学校 3年 国語 書くこと
「15歳の主張」

数量の関係を一次関数として捉え、未知の量を予測するには？

Unit 1
2つの数量はどんな関係なのか？

Unit 2
一次関数の特徴とは？
変化する量はどんなことを表しているのか？グラフを相互に関連付けて特徴を考える

Unit 3
関数を利用して問題を解決しよう

Unit 4
グラフの交点とは？
二元一次方程式の関数を表す式と異なるグラフの交点をグラフの交点として視覚的に捉える

Unit 5
関数を利用して問題を解決しよう

単元の実際
単元の導入～

【主な問い】
イギリスが世界で植民地を増やしているのはなぜだろう。

ペンオーワンズ課題
ときは文久3年(1863年)、アメリカ合衆国ではリンカーンが奴隷解放宣言を宣言した頃、日本では開国して5年が経っていた。時代が次々くねりを見せる中、洋学者として私塾を開くあなたは、日本の進むべき道について、門下生にどのように説きますか？

👉 研究プロセス動画ライオンナップ 小学校編 2本・中学校編 2本

実践研究協議校事業
ZからZの質・能カハイスの授業づくりを語る

これからの質・能カハイスの授業づくりを語る (プロゼス1)
教科の本質を目指す單元Z(1)において 質第一 発表 一斉 注視すべき3つの視点語る

令和3年度作成 高知県教育委員会

実践研究協議校事業
ZからZの質・能カハイスの授業づくりを語る (プロゼス2)

これからの質・能カハイスの授業づくりを語る (プロゼス2)
教科の本質を目指す單元Z(1)において 質第一 発表 一斉 注視すべき3つの視点語る

令和3年度作成 高知県教育委員会

実践研究協議校事業
ZからZの質・能カハイスの授業づくりを語る

授業づくりで注視すべき視点を語る
～中学校・社会科～
質・考え方を基軸に捉えに單元開発

令和3年度作成 高知県教育委員会

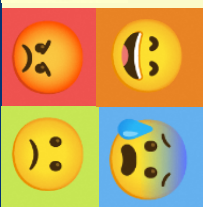
実践研究協議校事業
ZからZの質・能カハイスの授業づくりを語る

これからの質・能カハイスの授業づくりを語る
～一人一教科担当の教材研究会から～

令和3年度作成 高知県教育委員会

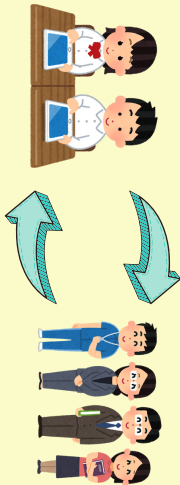
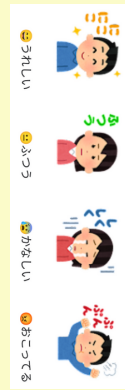
高知県教育委員会事務局 小中学校課
〒780-0850 高知県高知市丸ノ内1丁目7-52
TEL : 088 - 821-4735
FAX : 088 - 821-4926
E-mail : 310301@ken.pref.kochi.lg.jp

大型アップデート！きせきマタ



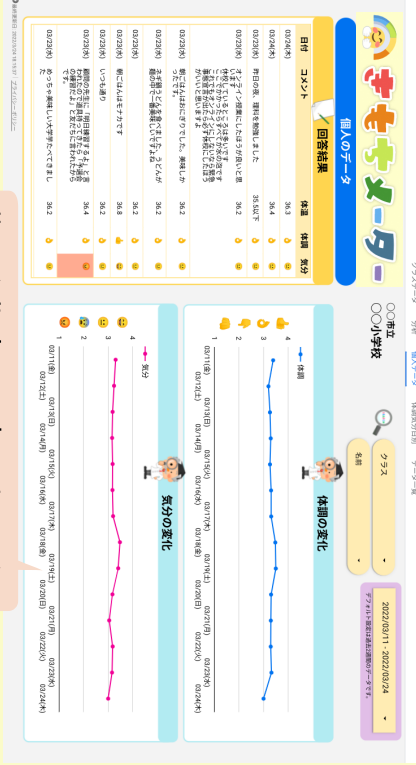
子どもたちの気持ちが見える、わかる、そして支える
令和3年7月にリリースされた『きもちメーター』の管理機能が大幅に拡充します。

1人1台タブレット端末等
を使用して今日の気持ちを
選択して送信



担任だけでなく、学校全体
で入力結果が共有できるこ
とで、組織的な対応につな
がります！

NEW 個人の変化が一目でわかります！



期間を指定して表示すること
ができます

NEW クラスの様子が
一目でわかります！



気持ちと体調・体温が一覧で示され、
設定基準に該当すると色付け表示されます。

NEW 気になるコメントが
自動表示されます！



設定したキーワードが含まれ
るコメントが表示されます

利用開始まで
3ステップ
詳しくは利用手順書で
ご覧ください

- 1 児童生徒情報
を用意する
- 2 高知県Google
ヘルプデスク
へ情報を送信
する
- 3 登録完了通知
が届けば利用
開始!!

デジタル教育の推進（新しい学びの促進）＜高等学校＞

目標

EdTechを導入し、生徒1人1台端末について、個々の学ぶ力を引き出し、主体的な学びを実現し「学校の新しい学習スタイル」や「個別最適な学び」を实践する。また、ICT支援員を学校に配置し、学校におけるICT教育の促進を図る。

期待される効果

○生徒1人1台端末を効果的に活用し、ICT教育の充実と個別最適な学びを实践することができる。

①先端技術を活用した個別最適学習についての研究

★各学校の実情に応じたEdTechを活用して個別最適な学びの实践検証を行う。

1人1台端末を効果的に活用し学校（授業）でのICT教育の充実を図る。

●学習ドリルや動画学習サイト、辞書ツールなど、様々なEdTechから学校単位で選択して活用

学校での日々の学び

EdTech※

- ①すららドリル 21校
AIドリル、D3対策等
- ②ClassPad.net 7校
スタディサポート校等
カシオと県教委の協定

ICT支援員による指導・助言

電話・メールでの相談

サポートセンター

(GIGAスクール運営支援センター)

Googleアカウント管理・OSバージョン管理
アプリ使用管理・iFilter管理

②ICT教育充実のための指導体制強化

- ・ICT支援員 4～6名を学校に配置（1人6校を担当）サポートセンターと連携して、授業でのICT活用のため、ハード面の調整・整備、授業での端末活用に関する相談・助言など、各校におけるICT教育の充実を支援。【業務委託】
- ・情報教育推進協議会
各校のICT教育の取組や課題について情報共有
- ・高大連携によるデジタル社会に対応した教育の充実事業
工科大と追手前との「情報I」連携事業 R4～3年間指定
→大学の高度で専門的な教育の提供。教員の指導力向上

- ・通信環境の整備
実習施設や校外での端末を活用した学習活動に利用するためモバイルルーターを整備
●学校の規模に応じた台数を整備

③デジタル技術を活用した学校体制づくり

- 家庭連絡システム「すぐーる」での支援
- 授業目的公衆送信補償金
ICTを活用した教育で用いられる著作物に対する補償

Google Workspace

学習プラットフォーム 「高知家まなびばこ」

学校外での活動

総合的学習や地域協働学習など、学校外での活動においても、1人1台端末を効果的に活用。

●非常時には通信環境のない生徒への連絡手段として活用

※Edtechとは、Education（教育）とTechnology（技術）を組み合わせた造語
テクノロジーを用いて教育を支援する仕組みやサービス

事業のねらい

高知県教育委員会とカシオ株式会社が連携して、教育活動におけるICTの効果的な活用と効果について検証を行うため、生徒1人1台端末を活用したシステムについて実践研究を行う。

事業内容

カシオ株式会社が開発した学習支援ツール「ClassPad.net」を、本県の県立高等学校、特別支援学校でモニターとして試行的に導入し、その教育効果について検証する。

高知県教育委員会

Classpad.netを導入

県立高等学校
(7校)

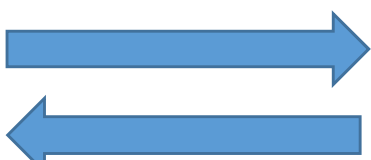
対象：約2,000名
安芸・高知追手前
高知小津・高知国際
須崎総合・中村
高知工業

県立特別支援学校
対象：希望者

活用事例の紹介

機能・操作改善の提案

データログ提供
(使用回数、活用時間等)



操作方法についての研修

活用方法に関する指導助言
事例(県外先進校)の紹介

カシオ株式会社

連携体制

CASIO

学校営業フォロー体制

- ・地域に密着した学校サポート
- ・本社からの現場サポート

教育サポート体制

- ・電子辞書を活用した指導案の作成
- ・教員向け活用セミナー
- ・操作講習会
- ・アドバイザーからの助言

期待される効果

- ・基礎学力(数学)の定着
- ・探究的な学びの充実
- ・授業等でのICT活用の促進
- ・情報活用能力の育成
- ・授業効率の向上

カシオ側の検証

- ・進学校などにおいてどのような活用ができるのか。(デジタルノートの効果的な活用)
- ・授業や家庭においてどのような活用ができるのか。
- ・学ぶことが苦手な生徒がどのように変わったか。

アンケート・データログ等で活用状況収集

ClassPad.net (カシオ株式会社)

調べ学習など協働学習に活用できる デジタルノート機能、オンラインの辞書機能や、グラフや図形などの理解や知識の定着を促進する 数学ツールなどを備えた学習ツール



デジタルノート機能

Japan
Japan is an island country in Asia. It is the world's 3rd largest economy. And there are many worldwide famous companies and product brands. Especially, automobile and high-tech industry such as CASIO and Toyota are well-known around the world.

In order to exploit aspects of the Japanese culture industry that are considered "cool", the government of Japan adopted a marketing term "Cool Japan".

忍者と呼称は 昭和に 残ってか
忍行 使い

日本政府観光局 へのリンク

内閣府のクール ジャパン戦略の ページ

アイデアメモ
Q:日本について思い浮かべるもの
・忍者・相撲
・食文化(寿司・天ぷら)

・アジアの国
・工業国
・アニメなどポップカルチャー
・Cool Japan

オンライン辞書機能

数学ツール機能

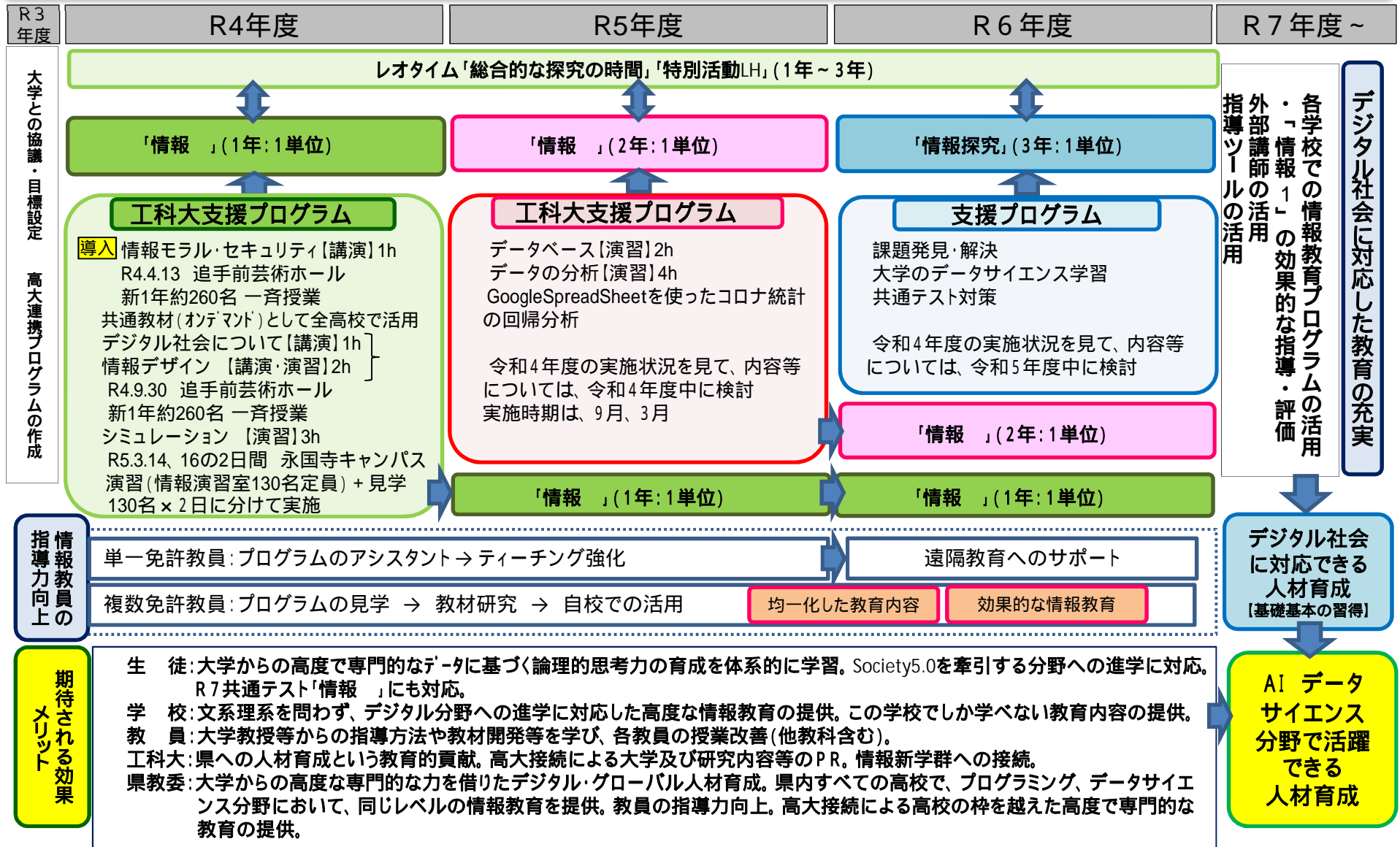
授業・学習支援機能

高大連携によるデジタル社会に対応した教育の充実事業 ～高知工科大学と高知追手前高校との「情報」連携事業～



ねらい

高知追手前高校の必修科目「情報」の授業を進めるにあたり、高知工科大学の連携協力を得て、情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を育成することを目指す。



不登校への総合的な対応

対策のポイント

各学校における不登校の**未然防止**、**初期対応**、**自立支援**の各領域にかかる取組をさらに充実させるとともに、福祉等の関係機関や保幼小中の連携を強化し、不登校等生徒指導上の諸課題の改善につなげる

1 現状

各学校において、不登校の未然防止に資する開発的な生徒指導や、校内支援会の実施等の初期対応・自立支援の取組が定着してきている

本県の小中学校における不登校出現率は、依然全国平均より高い状況が続いており、特に中学校での大幅な増加が見られる（R1 R2）

新規不登校（新たに不登校になる）児童生徒の出現率も全国平均より高い状況
不登校の背景として厳しい家庭環境や本人の発達障害なども多く見られる

2 課題

新規不登校を抑制するため、不登校の兆しが見えた児童生徒に関する速やかな情報共有やわずかな変化に気づき対応する必要がある

不登校の要因は、家庭の経済状況や家族の健康状態等に関わる部分が少なくないため、学校だけでなく関係機関との連携強化が必要である

発達障害のある子どもを含む、支援を要する子どもたち一人一人に必要な支援や学習方法の工夫など、教職員の授業実践力・学級経営力の向上が求められる

3 取組内容

未然防止・初期対応を重視した学校の体制の強化

学校・SSWと市町村児童福祉部署等との相互連携による支援体制の強化

- 校内支援会における検討ののち、SSWによる支援の実施
- SSWによる児童福祉部署等の関係機関へのつなぎ

【R4取組状況（4、5月）】

SSWの配置（全県立学校：4月、全市町村：5月）
市町村児童福祉部署との定期的な情報交換等の実施を県立学校SSWに依頼（4月）

新規不登校の抑制に向けた学校の取組の強化

- 欠席3日調べなどの初期対応の取組を徹底
- OJTによる不登校への理解や対応力の向上
- SC、SSWを活用した校内支援会
- ユニバーサルデザインの視点に基づく授業づくり・学級経営

児童生徒理解と早期の情報共有

不登校担当教員（者）を中心とした組織的対応

- 各学校に不登校担当者（不登校出現率が高い学校には担当教員を配置）を位置付け、取組を重点的に強化

【R4取組状況（4、5月）】

不登校担当教員の配置（20校：4月）
不登校対策チームによる訪問支援（4、5月）

学習支援プラットフォーム「きもちメーター」や校務支援システムを活用した情報共有・児童生徒理解

- 教員が日々の児童生徒の様子を把握
- 得られた情報を不登校担当教員（者）が集約・確認し、管理職に報告

個々の児童生徒に応じた支援の充実

校内適応指導教室モデル校の設置 **（拡）**

- 教室運営をコーディネートする教員の配置
- 不登校傾向の児童生徒に対して個別、最適な学びを確保
- 学習支援の充実を図るため、タブレット端末等を活用した支援について実践研究

【R4取組状況（4、5月）】

コーディネーター教員の配置（7校：4月）
モデル校への訪問支援（5月）

市町村の教育支援センターへの支援強化

- モデル地域を指定し、タブレット端末等を活用した児童生徒の学習支援について実践研究

自治体全体での不登校対策等の推進（1市指定）

NEW 保幼小中連携モデル地域実践研究事業

- 各中学校区における保幼小中15年間をつなぐ連携の推進
- 統括推進リーダーを市教委に配置し、小中連携の取組の推進
- 学校・SSWと児童福祉部署等との連携強化

SSW・スクールソーシャルワーカー SC・・・スクールカウンセラー 保幼小中の連携強化による、就学前教育、学力向上、不登校対策等を自治体全体で総合的に推進

【R4取組状況（4、5月）】

推進市の指定（1市、4中学校区） 統括推進リーダーの配置（4月）
調査研究委員会（4月～） 各校担当者会（5月～）
児童の支援リスト、家庭支援の計画・記録の作成の周知・徹底（4月）